

～「七飯町海外交流派遣」を終えて～

大中山中学校 2年 高橋 大河

今回、アメリカ・マサチューセッツ州・コンコード町に9月23日から10月4日まで、町の海外派遣生徒として参加させていただきました。

応募した動機は、昨年カーライル高校の生徒のホストファミリーとなり、もっとたくさんの人と係わってみたいと思ったからです。初めて身近に接し、慣れないことばかりで緊張のあまりコミュニケーションもあまり取れなかったように思います。でも、最後の夜に姉の友達も呼んでパーティを開いたとき、言葉では難しいけれど、楽しいことは心で通じるということを実感しました。そして東日本大震災のあと僕たちのことを心配し連絡をくれ、チャリティーコンサートを開いてくれたこともメールで知らせてくれました。同じ日本人の僕たちでさえ、どうしたら良いのかわからない状況の中で、すぐに行動を起こしてくれたことに驚きました。そして、どうしても彼女にお礼を直接言いたいと思いました。決して楽しいことではないけれど、心に感じるものはアメリカも日本も関係ないと感じました。

僕のホストファミリーは4人家族でサム君とサム君のご両親とお姉さんです。ペットには犬1匹と鳥2羽を飼っていました。とてもやさしくしてもらい、毎朝、日本茶をだしてくれましたしおいしい料理も沢山作ってくれました。サム君の家での最初の食事では、僕のために特別にライスを用意してくれたほどです。他にも



ホストファミリーと。お父さん、お母さん、僕、サム君（左から）
呼び方は、みんな名前で呼び合いました。お母さんの手料理はとてもおいしかったです。

僕のために僕のためのパソコンを用意してくれてインターネットにつないでくれました。そのおかげで日本の友達ともメールをすることができました。サム君は作詞、作曲が趣味で自作のCDを作っていました。YouTubeにも投稿しています。ニューヨークに出発する日、サム君の作ったCDを貰いました。サム君のお父さんはサム君が勉強している間、ずっとぼくのゲームの相手をしてくれました。そして、僕がさびしくならないように面白い話をしてくれました。

た。残念だったのが、サム君のお姉さんに会えなかった事です。お姉さん

は今、オハイオ州の大学へ行っていて離れて暮らしています。

僕はアメリカに行ったらハンバーガーを食べてみたいと思っていました。9月16日の壮行式の時にハンバーガーの話題が出てからずっと思っていました。とても食べたかったのでサム君のお母さんにお願いすると2日目に連れて行ってくれました。実際に食べてみると、とても大きいし、とても脂っこかったです。日本人たちは「出されたものはちゃんと食べなければ失礼」と思う人たちがたくさんいると思いますが、アメリカの人たちは普通に食べ切れなかったら残していたのでびっくりしました。僕がお腹がきつく脂っこくて食べ切れそうもないと思っていた時にサム君のお父さんが、「ハンバーガーを残してもいいんだよ」と言ってくれたので、助かりました。

その帰り道の事、サム君のお母さんに「歩いて帰ったらどう？」と言われました。お腹がいっぱいでとても歩けそうになかったのですが、僕の性格上、断ることができませんでした。歩きながらお土産のことを思い出したので伝えたら、食べ物か洋服どっちがいい？と聞かれ、僕は「food」と言ったので



すがサム君たちには「hood」と聞こえたらしく「洋服なの？」と聞かれ、「食べ物です。」と答えてもやっぱり「hood」と聞こえたそうです。このまま僕が言っても「らち」があかないので最終手段の翻訳機を使いスーパーマーケットに連れて行ってもらうことにしました。もうちょっと英語の発音を勉強しておけば良かったと思いました。

うわさのハンバーガー！
チーズバーガーにベーコントッピング。ポテトは付いてます。
パテが脂っこく、やっぱり日本のハンバーガーが一番！

アメリカでは日本との違いがたくさんありました。スーパーマーケットでは驚くようなものが沢山ありました。例えばとても大きなプラスチックの容器に入っているりんごジュースやお肉の塊。特に驚いたのは日本食のコーナーにあった食べ物で、日本人から見れば日本の食べ物とは思えないものもありました。他にも別に驚きはしないけれど気になるものもありました。それは、「7.00/2」と書いているものです。とても気になったので、サムのお父さんに聞いてみると「これは2個買えば7ドルで買うことができるよ。」と教えてくれました。そもそも僕は、1ドルが高いのか安いのかあまりよくわからず。「7ドル・・・高いかもしれない」と思いつつもお土産として買いました。アメリカに滞在して4日目を過ぎたあたりでやっと金銭感覚がついてきました。

到着した翌日からぼくは学校に行きました。学校には広くて立派なコンサートホールがあり、そこで七飯高校の吹奏楽局とCCHSが合同演奏会を開きました。コンサートはたくさんの人たちが来てスタンディングオーベーションがおきる程、大成功したと思います。僕は初めてだったので戸惑いながらも立ちながら拍手をしました。もちろん、その舞台の上にいる僕の姉とサム君のために。

カーライル高校の学校の図書室はとても広く図書館と言ってもいいぐらいの広さでした。また、学校の中にはラジオ局があり、今回特別に僕たちも出演させていただきました。ラジオの機材は本格的でびっくりしました。日本の音楽を自分たちで選曲し流してもらいましたが、コンコードの人たちに受け入れられたかどうか心配でした。

数学の授業では日本のように先生の説明を聞いてから問題を解きました。日本と違う点は生徒たちが自由に教室を出て飲み物などを買うに行くことです。日本では、ありえないことです。僕たちが普段家庭学習をしている時に、お茶を飲みながら勉強する感覚かもしれません。

コンコードの自然はとても美しかったです。野生のリスがいたる所にいて、手を延ばすとすぐにでも触れることができそうでした。でも実際には賢いしすばしっこいので触ることは無理でした。サム君の家の裏には野生のリスの巣があり毎朝姿を見ることができましたし、近くの川にはワニガメがいて、頭と甲羅を出して泳いでいるのが確認できました。七飯町も自然は豊かですが自然の動物と触れ合うことは少ないです。だからコンコードがうらやましいと思いました。ただ蚊が多くてじんましんかと間違えるほど悩まされました。

ニューヨークへ出発の日、僕はホストファミリーと離れるのがとてもさびしかったです。またコンコードへ来たいと思いましたし、ぜひサム君に日本へ来てほしいと思いました。日本から筆ペンで書いた手紙を持って行き別れる前に渡すと、とても驚いていました。そして「ありがとう」と笑ってハグしてくれました。こんなに長い日数、僕を迎えてくれたホストファミリーにとっても感謝しています。そして、アメリカにも家族ができたような気持ちです。

ニューヨークでは、キングコングの映画に出てきたエンパイア・ステート・ビルに登りました。待ち時間がとても長く、登る前にへとへとになってしまいました。展望台まで登るととっても高く、そこから見た景色は車もゴマみたいに小さく見えました。

自由の女神を見にいった時には「さすがアメリカの象徴」というオーラが伝わってきました。中の構造を見た時に形が変わらないようにいろいろと工夫がされていたので工夫って大事だなと思いました。

グランドゼロでは平和の大切さを改めて感じました。テロでも震災でも

犠牲になることはつらいことです。今こうして平和の中にいる僕は、しっかりと将来平和のために少しでも貢献できれば良いと思いました。

今回、僕は七飯町の海外派遣生徒として参加させていただき感謝しています。僕が経験したことは今までの中で一番に等しいほど貴重な体験でした。同じ町内に住んでいながら、今回初めて会って仲良くなった人たちもいるのに、アメリカという離れた国でたくさんの人に出会えたことは奇跡に近いかもしれません。僕はこれからもっともっと学んで世界の中の一人として活躍できればいいなと思います。一緒に行ってくれた皆さんありがとうございました。